

情報科学研究科 ディプロマ・ポリシー

博士前期課程では、高付加価値の知識集積型産業への移行の要請、「ものづくり」の情報化に対応するために、先端的専門知識・技術と実際的な問題解決能力をそなえ、最新の情報技術を先導できる高度情報技術者を育成する。

博士後期課程では、情報科学技術に関する学術研究を推進し、情報科学の発展に寄与することを目的とするとともに、社会が必要とする情報科学技術に関する高度な専門知識を駆使して独自に問題を発見して解決することができる先端的な高度情報技術者または研究者を育成する。

	博士前期課程	博士後期課程
① 専門的知識・能力	<p>【情報システム専攻】情報の数理、コンピュータシステム、コンピュータソフトウェア、情報ネットワーク、ユビキタスコンピューティング等に関する先端的専門知識を理解している。</p> <p>【メディア情報専攻】知能情報処理、言語情報処理、音声・視覚情報処理、メディアコンテンツ等に関する先端的専門知識を理解している。</p> <p>【システム科学専攻】システム数理、地球環境システム、社会システム、生体情報システム等に関する先端的専門知識を理解している。</p>	<p>情報システム、メディア情報、システム科学の分野のうち、自らが専門とする分野における先端的かつ専門的な知識、研究成果として生み出される先端的かつ高度な情報技術の特許化・具体化する上で必要となる法的知識について理解している。</p>
② 研究課題を発見し設定する力	<p>情報科学に関わる諸問題を自立的に発見することができる。</p>	<p>情報科学に関わる諸問題や先端的かつ実践的な情報システムの企画・研究開発等における諸問題を独自に提起することができる。</p>
③ 仮説を立て研究方法等を構築する力	<p>獲得した知識・技能を総合的に活用し、情報科学の諸問題を自立的に解決することができる。</p>	<p>獲得した知識・技能を総合的に活用し、情報科学分野において、独自のかつ実践的に研究を行うことができ、さらに、新たな情報技術の開発を行うことができる。</p>
④ 他人を納得させることができるコミュニケーション能力や情報発信力	<p>専門的学術領域の場で自らの考えを口頭および文章で的確に表現することができる。</p>	<p>一般社会に対して高度な専門内容の必要性・意義を口頭や文章で的確かつ効果的に表現することができる。</p>
⑤ 研究分野以外の幅広い知識	<p>専攻分野以外の先端的専門知識を理解している。</p>	<p>研究成果の実用化のために、社会的機構と連携できる知識を身につけている。</p>
⑥ 国際性	<p>国際的な場で発表された国内外の研究者の研究成果を調査し、自らの研究に生かすことができる。</p>	<p>自らの研究成果を国際的な場で発信することができる。また、国外の研究者と交流し共同研究を行うことができる。</p>
⑦ 倫理観	<p>捏造、改ざん、盗用、二重投稿・不適切なオーサーシップなどの研究不正行為について正しく理解し、自らを厳しく律して崇高な倫理観のもとに研究活動を行うことができる。</p>	<p>捏造、改ざん、盗用、二重投稿・不適切なオーサーシップなどの研究不正行為について正しく理解し、自らを厳しく律して崇高な倫理観のもとに研究活動を行うことができる。</p>